

公社賃貸住宅の耐震性能一覧表

1 昭和 56 年 5 月 31 日以前に建設した住宅（現在の耐震基準施行以前）

区分	住宅名
A	大曽根併存、大曽根、高道、当知東、平池、山根台第 1、山根台第 2、菱野第 3、菱野第 4、豊山
B ⁺	東桜、竹田、鳴子第 2、池上第 1、池上第 2、豊山第 2、富吉、第 2 富吉、第 3 富吉、伊奈
C ⁺	鳴子第 1、東丘、水野第 1、水野第 2、水野第 3、菱野、菱野第 2、松河戸、豊田第 1、豊田第 2

○ 区分 A について

Is 値 0.6 以上の住宅であり、地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、崩壊する危険性が低いと判断しています。

○ 区分 B⁺・C⁺ について

Is 値 0.6 未満の住宅となりますが、比較的狭い間隔で各住戸界に最上層から最下層まで連続して耐震壁が配置された住宅、又は耐震改修済みの住宅であるため、地震により人命に影響を及ぼすような倒壊や崩壊をする危険性が低いと判断しています。

2 昭和 56 年 6 月 1 日以降に建設した住宅

住宅名
城木、サンコート星ヶ丘、サンコート砂田橋、中切、サンコート黒川、長戸、サンコートごきそ、サンコート呼続、サンコート八事、サンコート桃花台、二ツ杵、サンコート西枇杷島、サンコート三高、サンコート田原

※新耐震基準に適合

参考) Is値(構造耐震指標)は構造体の耐震性能を表す指標で、建物の各階毎に梁間(短辺方向)及び桁行(長辺方向)方向それぞれについて算定されます。建物の評価に際してはこれらの数値のうち最も低い数値で評価します。

区分	Is 値	評価
A	0.6 以上	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、崩壊する危険性が低い
B	0.3 以上 0.6 未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、崩壊する危険性がある
C	0.3 未満	地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、崩壊する危険性が高い

注) 記載のない住宅については、当公社と他者との共同住宅となりますので、協議が整い次第、順次追記します。